

予算額

1,859,125 円

トップアスリートによる巡回指導

巡回指導先団体総数	2	団体		
巡回指導先団体内訳	総合型クラブ	スポーツ少年団	学校	その他
	0	0	2	0

トップアスリート総数	1	名		
トップアスリートの内訳 (大会出場別)	オリンピック	国際大会	全国大会	その他
	名	1名	名	名

アシスタントコーチ総数	2	名
-------------	---	---

指導種目	陸上
------	----

◆効果をもとめるための工夫や取組など

- 国際大会出場経験者であるトップアスリートやアシスタントコーチの実際のフォーム等を見せてもらう事が一番、刺激になるので、とにかく実践してもらう事を最大限取り入れて頂くようにした。
- 通常の中学校の部活での練習とは違うトレーニングメニューの導入をした。

◆成果と課題

〔成果〕

- アスリートのトレーニングに対する心構えの習得、アスリートフォームを自分の目で見るとの体験、新しいトレーニングメニューの導入等が参加した生徒にとってあげられる。また、部活動の顧問にとっては、人とは違った指導方法が学べた点である。
- 一方、アスリートにとっても、新しい出会いや人間関係が築けた事が今後にとって、大きな財産となるであろう。

〔課題〕

- 公募期間から実施期間が短いので、十分な準備ができずに始まってしまった点が上げられる。
- 今回は、2次募集からの採択で始まったので、冬季での開催のため、時間とトレーニングメニューが制約された事も大きな課題である。

地域課題解決に向けた取組

1	取組の名称	トップアスリートによるはりま陸上教室				
	趣旨・目的	地域の課題である子どもの体力向上と高齢者の健康づくりに向けて、陸上競技の運動特性を活かし、トップアスリートによるより専門的指導を受ける事によって、スポーツをする楽しさを知り、意欲的に活動できる事を趣旨とする。				
	内容	通常行っている「子供いきいき陸上教室」にトップアスリートとアシスタントコーチの専門的スキルを用いて、陸上競技の楽しさや素晴らしさを体験できるように、初歩的なトレーニングメニューから実践的なメニューへと回数を重ねる毎に取り入れ、一貫性のある教室とした。				
	対象者	小学生から高齢者	参加人数／回	延べ 1,000人	実施回数	10回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの年代にあった指導方法や地域の課題を理解した上での指導を取り入れて頂くように、要望しました。又、少しでも、本格的に陸上競技をしようと思えるきっかけづくりになるような内容を取り入れて頂きました。 				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> アスリートの練習に対する姿勢を学んだ事や一連の練習を通じて、回数を重ねる上で、小学生の意欲が向上して、少しでも身体を動かす事の楽しさや大切さが理解でき、また、継続する事の大切さを学べたことにより、体力向上への基礎ができた事である。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> 巡回指導同様、準備期間が短かったことによる広報が充分に行き届かず、また、冬季での開催であったことと重なり、高齢者の参加が無かったことである。 					

本事業全体の成果と課題

〔成果〕

- ・ トップアスリート派遣及び地域課題の解決とともに、トップアスリートが持っているスキルを練習メニューや指導方法等で、最大限に発揮してもらい、参加者及び指導者に大きな影響を与えた事である。
- ・ トップアスリートにとっても、これまでの競技人生では、経験出来なかった地域の人達への指導者や指導者との交流で、アスリートとしての、セカンドキャリアを考える上で、大きな勉強になったことである。

〔課題〕

- ・ 公募から事業実施までの期間が短く、十分な準備が出来ずに、始まってしまい、事業の趣旨等を広報する時間が少なく、また、時期的にも冬季の実施ということで、時間や参加対象者に制約がかかってしまったことである。
 今後は十分な準備期間がとれるように公募時期を考慮すべきである。